

表現・コミュニケーション



小学校

総合

国語

伝える極意

🕒 15分

(2008年放送/以下同)

1分間で思いを伝える ～スピーチ～

聞きたいことを聞き出すために ～インタビュー～

この番組の良さ



言語活動の充実

小学校学習指導要領では、「確かな学力を育てるために、知識・技能を習得し、これらを活用して思考力、判断力、表現力を育むこと」を重視しています。各教科の指導においても、「言語活用の充実」が求められています。国語科では「記録、要約、論述、説明」の言語活動、他教科では、「説明する」「表現する」「交流する」「話し合う」等の言語活動が例示されています。本番組「伝える極意」では、学習場面での言語活動の指導のポイントや方法、つまずきの解決方法がまとめられ、授業で活用しやすい教材です。

達人から学ぶ

本番組には、その分野のスペシャリストまたは、言語指導の達人が登場します。話すことや書くことを苦手としている子どもが、その達人から、「極意」といわれる方法を教えてもらい、筋道にそって、上手に表現することができるようになっていきます。本番組を視聴することで、日常生活では習得することができないアドバイスを受けることができます。また、話すことや書くことを苦手としている子どもにとって、つまずきの解決方法がわかり、学習意欲の向上とともに、表現力を高めることができます。

「伝える」「伝わる」喜びを実感

授業や生活の中で、自分の考えや気持ちを伝える場面がよくあります。しかし、どのようなことを意識して、「伝える」活動を行っているでしょうか。「伝える」という活動は、伝えたい相手があり、その相手に理解してもらえるように話したり、文を書いたりすることが、とて

も大切です。これは、相手を意識して伝えることです。相手に自分の考えや気持ちが伝わった時、子どもたちは伝えることが楽しくなり、喜びを感じます。本番組を活用して、子どもたちに「伝える」「伝わる」喜びを実感させてみませんか。

